

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第6回和文会誌分科会 開催日：8月16日。出席者：松下主査，ほか21名。

1. 「鉄と鋼」第60年第14号(12月号)に論文11件，研究速報1件，技術資料1件，特別講演1件の計14件の掲載を決定した。

2. 論文勧誘制度について討論され，現場関係記事を中心に勧誘することになった。

第6回欧文会誌分科会 開催日：8月13日。出席者：中村政幹事，ほか7名。

1. 9件の論文について審査報告がなされた。
2. 「鉄と鋼」60年9号より1件，その他の国内雑誌より3件の論文について投稿を勧誘することになった。

共同研究会

鋼板部会

第37回厚板分科会 開催日：5月23日，24日。出席者：黒津主査，ほか91名。

1. 工場操業状況報告
提出資料に基き討論が行われた。黒津主査が座長としてまとめられた。

2. 「圧延作業とその管理」
前項同様の形式で討論が行なわれた。

3. 次回分科会の予定
開催地 新日鉄・広畑

議題 剪断関係

4. 工場見学
日本鋼管・京浜製鉄所厚板工場

条鋼部会

第36回中小形分科会 開催日：6月5・6日。出席者：水内主査，ほかのべ110名。

1. テーマ研究発表討議
普通鋼，特殊鋼主体別に分かれて討議。
(1) 「製品結束および表示方法の現状と改善」
(2) 「公害対策と作業環境の改善について」

2. 操業状況報告
3. 次回分科会について
アンケート調査の結果下記と決定。

(1) 開催地 川鉄・水島
(2) 議題 「省エネルギー対策」
「ロールの組替，型替えについて」

4. 大同・知多の小形・分塊工場を見学。

鉄鋼分析部会

第33回化学分析分科会 開催日：6月6日。出席者：新見主査，ほか47名。

1. 前回議事録確認
2. 鉄鋼化学分析

(1) S：管状電気炉による燃焼法のCu助燃剤検討
(2) W：チオンアン酸アンモニウム吸光光度法およびTPAC抽出吸光光度法による鉄鋼中Wの定量方法共同実験要領案の検討。

(3) Co：ニトロンR塩錯体の吸光度の検討
(4) N：サーマチック N/H(VK-4B)の実用化の検討結果について審議

(5) Nb：ピロリジンジチオカルバミン酸アンモニウムとピロカテコールによる抽出吸光光度法の検討結果の審議

(6) P：ISO案とJIS案の対比
3. 原子吸光分析
連れい定量，スラグ類の分析，鋼中微量Snの定量法の検討。

計測部会

第57回部会 開催日：7月17日，18日。出席者：野坂部会長，ほか92名。

1. 幹事報告
2. 小委員会報告 ①プロコン計装工事基準小委員会 ②プロコン保守小委員会，③圧延用ロードセル小委員会(追加報告)

3. 一般研究報告
製鉄関係4件，製鋼関係1件，圧延関係5件，製品検査関係1件，新製品紹介3件，環境管理関係3件，その他1件の計18件が報告され，討議された。

4. 工場見学
東芝府中工場
5. 次回は10月住金鹿島の予定

調査部会

第27回部会 開催日：7月18・19日。出席者：島田部会長，ほか71名。

1. 定期交換資料の報告 検討。
2. 国内海上輸送に関するアンケート調査結果の報告 検討。(幹事会)
3. 国内海上輸送に関する改善事例発表。各社1~2例具体的な事例の詳細発表。

4. 「輸出鋼材船内保定小委員会中間報告」
小委員でまとめた「輸出鋼材船内保定作業標準」について小委員会平田主査から中間報告。

5. グループ討議
「運航方法の改善」「船体荷役の改善」の2テーマについて，石田幹事，和田幹事の司会で討議。

原子力部会

第34回第四小委員会 開催日：7月22日。出席者：一色委員長，ほか12名。

研究発表
1. SiN等非金属耐熱材料について

新日鉄 余田部会幹事

2. 欧州原子力製鉄クラブ パーソング会長のブラジルにおける講演について

新日鉄 余田部会幹事

3. 第一回水素経済マイアミ・エネルギー会議提出論文 "Hydrogen production with a High-Temperature gas-Cooled Reactor (HTGR)" について.

東芝 玉置委員長直属幹事

4. General Atomic Co. における高温耐熱材料の研究状況について

金材技研 渡辺委員

標準化委員会

第38回線材分科会 開催日: 5月30・31日. 日出席:

者: 三木主査, ほか72名.

1. 工場操業状況調査報告

2. 「省力化」について研究発表

過去4年間の省力の実例について8社22工場より詳細発表があった.

3. 自由研究

各事業所から, 11件の研究発表があった

4. 次回分科会について下記を決定

開催地 神鋼・加古川

議題 「省エネルギーについて」

「歩留向上対策」

5. 工場見学

室蘭製鉄所 1線および2線

国際鉄鋼技術委員会

第2回委員会 開催日: 7月24日. 出席者: 豊田委員長, ほか13名.

1. 豊田委員長より梅根日本代表に就任したのにもない代理を選任することとし, 日本鋼管技術部次長篠田作衛氏が選出されたことを報告, 紹介された.

2. 第8回 IISI 総会が10月14~16日, ミュンヘンで開かれるが, 議題および日本から豊田委員長, 吉識名誉教授が講演されることが紹介され, 講演概要が紹介された.

3. 6月24~25日ブラッセルで開催された, 技術委員会の報告があった.

4. 1975年の技術委員会が日本開催を要望されていることが報告され, 開催を引き受けることとした.

鉄鋼基礎共同研究会

第32回遅れ破壊部会 開催日: 7月24日. 出席者: 藤田部会長, ほか22名.

研究発表

1. 水素脆性と破面形態について

大阪大 菊田米男, 荒木孝雄

○黒田敏雄

2. 強力鋼の遅れ破壊

住友金属 寺崎高久長

3. 純 Ni, Fe-Ni 合金の水素脆化について

大阪大 佐賀二郎, 宮田節男

打合せ

今回, 過去及び現在の研究状況のレビューが各委員より提出され, これらをもとに, 今後まとめについて相談していくことになった.

第16回固体質量分析部会 開催日: 7月24日. 出席者: 須藤部会長, ほか13名.

1. 第1-B グループの共同実験結果のまとめ報告

2. 第2グループ(ガス関係)の共同実験結果の報告

3. IMA 関係

川鉄技研より O_2^+ と Ar^+ でスパッターした時の鉄表面の差について報告された

4. 次回は乾板の見直しと今後の部会活動について討論の予定